

## 1-② 発想を替えてハッピータウン

■対象：就学前の保護者 ■人数：20人 ■時間：70分程度 ■手法：カードワーク+リフレーミング

学習のねらい 地域の問題点をプラスに捉え直すことで、前向きな気持ちで地域に向きあうことができる。

時間	学習の流れ	留意点	準備物
	<p>【はじめに】</p> <p>今回は、この地域の問題点や課題について考えていきます。その前に少し心と体をほぐしましょう。</p>		
20分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① バースデーチェーン ② 短所カードで自己紹介をする ③ 裏面の長所カードを使って他己紹介をし合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輪になったあとで、4人グループをつくる。</li> <li>・同じような側面でも、見方によって印象が異なることを伝える。</li> </ul>	<p>ストップウォッチ</p> <p>たいやきカード</p>
40分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>① 「地域の課題や問題」を1枚に1つずつ、なるべくたくさんカードに書く [5分]</p> <p>② 書いたカードをグループで集め、シャッフルして中央においたあと、カードをひいて、より重要だと思うものを手元に残す [5分]</p> <p>③ 手元に残ったカードをグループで見せ合う [5分]</p> <p>④ 出されたカードについて、見方を変えたポジティブな言葉を付箋に書いて出し合う [15分]</p> <p>⑤ 各グループで、どのような話し合いがなされたかを発表する [10分]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題や問題だと思われることをカードワークで出してもらおう。</li> <li>・最終的にグループには課題カードがテーブルに人数分出ている状態になる。</li> <li>・④では、それぞれの課題について、みんなで1点ずつ、見方を変えたポジティブな言葉を付箋で出し合い、それについて意見交換をすることを伝える。</li> </ul> <p>(例) コンビニが無い→星空がきれい 遊び場が無い→遊び場をどこにでもつくれる 買い物が遠い→無駄遣いをしなくて済む</p>	<p>名刺大のカード (グループに40枚程度)</p> <p>サインペン</p> <p>付箋</p>
10分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>① 今日の感想をワークシートに書く ② グループで発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に広げたいことは、積極的に取り上げる。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>サインペン</p>
	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか。この町にはたくさんのハッピーがあふれていることがわかったのではないのでしょうか。次回は、この続編としてハッピーカレンダーを作成したいと思います。</p>		

【たいやきカード】：たいやき型カードゲーム「短所を長所に変えたたいやき」（株式会社アイアップ）